

# 身近なみどり整備推進事業 活用事例紹介

平地林・里山林は生活に身近なみどりですが、近年、手入れが行われず、放置されている状況が増えています。



茨城県では**森林湖沼環境税**を活用し、市町村が行う平地林・里山林の保全・整備を支援しています。



## 事例① 境内の森林整備(神栖市)

歴史がある神社だが、整備が行き届かず遊歩道を通れないほど草木が生い茂る状況。

地域住民から  
整備を求める声

**刈払いや間伐を実施**

日当たりが良くなり、森林環境が改善するとともに景観も回復。



整備後風景

## 事例② 通学路沿いの森林整備(石岡市)

通学路沿いの山林だが、薄暗く見通しが悪い状況。

安全確保を求める声

**刈払いや整理伐等を実施**

森林の見通しが良くなり、安全性が高まるとともに、景観も回復。



整備後風景

### 事例③ 竹林管理(高萩市)

竹により低木や下草が繁茂し、  
貴重な城跡が埋もれている

#### 竹林整備を求める声

##### 竹林の整理伐、刈払いを実施

林内が明るくなり、城跡の存在がわかり、  
歴史を感じられる場所となり、景観も回復。



整備後風景

### 事例④ 有害鳥獣対策(桜川市)

山林に隣接する田畑で、  
イノシシによる被害が頻発。

#### 獣害対策を求める声

##### 森林の刈払い・間伐を実施

イノシシが近づかなくなり、  
森林と農地との間に緩衝帯を整備。



整備後風景

※緩衝帯:見通しの悪い藪や森林は、イノシシの隠れ場所となります。農地に接する森林を整備することで、見通しが良くなり、イノシシが近づきにくい場所(緩衝帯)をつくることができます。

### 事例⑤ 森林公園(水戸市)

枝が園路上にせり出し、交通に支障がでたり、  
草木が生い茂り景観も悪い状況。

#### 安全性、景観を回復

##### 枝落としや下刈りを実施

バスの通行もスムーズになり、歩行者の安全性も向上。また景観も向上しより来訪者にとって快適な施設に改善。



整備後風景

(問い合わせ先) 市町村の林務担当課または、県農林事務所へ

- ・県北農林事務所林業振興課 Tel 0294-80-3370
- ・県央農林事務所林業振興課 Tel 029-231-2079
- ・鹿行農林事務所林業振興課 Tel 0291-33-4123
- ・県南農林事務所林業振興課 Tel 029-822-7087
- ・県西農林事務所林業振興課 Tel 0296-24-9176